

## 第一級陸上特殊無線技士「法規」試験問題

12問

解答は、正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）してください。

〔1〕 次に掲げるもののうち、固定局の免許状に記載される事項でないものを、電波法の規定に照らし下の番号から選べ。

- 1 無線局の目的      2 通信の相手方及び通信事項      3 無線従事者の氏名      4 免許人の氏名又は名称及び住所

〔2〕 次の記述は、無線局の落成後の検査について電波法の規定に沿って述べたものである。□□□ 内に入れるべき字句の正しい組合せを下の番号から選べ。

第8条の予備免許を受けた者は、工事が落成したときは、その旨を総務大臣に届け出て、その無線設備、無線従事者の資格（主任無線従事者の要件等に係るものを含む。）及び □□□ A □□□ 並びに時計及び書類（以下「無線設備等」という。）について検査を受けなければならない。

の検査は、 の検査を受けようとする者が、当該検査を受けようとする無線設備等について第24条の2第1項又は第24条の13第1項の登録を受けた者（「登録点検事業者」又は「登録外国点検事業者」のことをいう。）が総務省令で定めるところにより行った当該登録に係る □□□ B □□□ を記載した書類を添えて の届出をした場合においては、その □□□ C □□□ を省略することができる。

- |   | A  | B     | C  |   | A    | B     | C  |
|---|----|-------|----|---|------|-------|----|
| 1 | 員数 | 点検の結果 | 一部 | 2 | 員数   | 検査の結果 | 全部 |
| 3 | 技能 | 点検の結果 | 全部 | 4 | 業務経歴 | 検査の結果 | 一部 |

〔3〕 次に掲げるもののうち、「無給電中継装置」の定義として電波法施行規則に規定されているものを下の番号から選べ。

- 自動的に動作する無線設備であって、通常の状態においては技術操作を直接必要としないものをいう。
- 送信機、受信機その他の電源を必要とする機器を使用しないで電波の伝搬方向を変える中継装置をいう。
- 受信装置のみによって電波の伝搬方向を変える中継装置をいう。
- 電源として太陽電池を使用して自動的に中継する装置をいう。

〔4〕 次に掲げる記号をもって表示する電波の型式のうち、電波の主搬送波の変調の型式が振幅変調であって残留側波帯のもの、主搬送波を変調する信号の性質がアナログ信号である単一チャネルのもの及び伝送情報の型式がテレビジョン（映像に限る。）のものはどれか、電波法施行規則の規定により正しいものを下の番号から選べ。

- 1 A3E      2 C3F      3 F7C      4 G7W

〔5〕 次の記述は、電波の強度に対する安全施設について電波法施行規則の規定に沿って述べたものである。□□□ 内に入れるべき字句の正しい組合せを下の番号から選べ。

無線設備には、当該無線設備から発射される電波の強度（ □□□ A □□□ をいう。以下同じ。）が別表第2号の3の2に定める値を超える場所（人が通常、集合し、通行し、その他出入りする場所に限る。）に取扱者のほか容易に出入りすることができないように、施設をしなければならない。ただし、次に掲げる無線局の無線設備については、この限りでない。

- 平均電力が □□□ B □□□ の無線局の無線設備
- C □□□ 無線局の無線設備
- 地震、台風、洪水、津波、雪害、火災、暴動その他非常の事態が発生し、又は発生するおそれがある場合において、臨時に開設する無線局の無線設備
- (1)から(3)までに掲げるもののほか、この規定を適用することが不合理であるものとして総務大臣が別に告示する無線局の無線設備の電波の強度の算出方法及び測定方法については、総務大臣が別に告示する。

- |   | A                | B         | C    |
|---|------------------|-----------|------|
| 1 | 電界強度及び磁界強度       | 20ミリワット以下 | 固定する |
| 2 | 電界強度及び磁界強度       | 50ミリワット以下 | 移動する |
| 3 | 電界強度、磁界強度及び電力束密度 | 20ミリワット以下 | 移動する |
| 4 | 電界強度、磁界強度及び電力束密度 | 50ミリワット以下 | 固定する |

〔6〕 次に掲げる者のうち、無線従事者の免許が与えられないことがある者はどれか、電波法の規定により正しいものを下の番号から選べ。

- 刑法に規定する罪を犯し罰金以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又はその執行を受けることがなくなった日から2年を経過しない者
- 電波法の規定に違反し、3箇月以内の期間を定めて無線通信の業務に従事することを停止され、停止の期間が満了した日から2年を経過しない者
- 無線従事者の免許を取り消され、取消しの日から2年を経過しない者
- 日本の国籍を有しない者

【 7 】 次の記述は、無線通信の秘密の保護について電波法の規定に沿って述べたものである。□内に入れるべき字句の正しい組合せを下の番号から選べ。

何人も法律に別段の定めがある場合を除くほか、□ A □ の相手方に対して行われる無線通信（電気通信事業法第 4 条第 1 項又は第 16 4 条第 2 項の通信であるものを除く。以下同じ。）を傍受してその □ B □ を漏らし、又はこれを窃用してはならない。

□ C □ の秘密を漏らし、又は窃用した者は、1 年以下の懲役又は 50 万円以下の罰金に処する。

□ D □ がその業務に関し知り得た の秘密を漏らし、又は窃用したときは、2 年以下の懲役又は 100 万円以下の罰金に処する。

A	B	C	D
1 不特定の	存在若しくは内容	無線通信	無線通信の業務に従事する者
2 不特定の	内容	無線局の取扱中に係る無線通信	無線従事者
3 特定の	存在若しくは内容	無線局の取扱中に係る無線通信	無線通信の業務に従事する者
4 特定の	内容	無線通信	無線従事者

【 8 】 固定局の空中線電力 50 ワット以下の無線電話を使用して応答を行う場合において、確実に連絡の設定ができると認められるとき、無線局運用規則の呼出し又は応答の簡易化に関する規定により、応答事項のうち省略することができるものを下の番号から選べ。

- 1 相手局の呼出名称（3 回以下）      こちらは（1 回）
- 2 どうぞ
- 3 こちらは（1 回）      自局の呼出名称（1 回）
- 4 相手局の呼出名称（3 回以下）

【 9 】 次の記述は、電波の発射の停止について電波法の規定に沿って述べたものである。□内に入れるべき字句の正しい組合せを下の番号から選べ。

総務大臣は、無線局の発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合していないと認めるときは、当該無線局に対して臨時に電波の発射の停止を命ずることができる。

総務大臣は、 の命令を受けた無線局からその発射する電波の質が総務省令の定めるものに適合するに至った旨の申出を受けたときは、その無線局に電波を □ A □ させなければならない。

総務大臣は、 の規定により発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合しているときは、直ちに □ B □ しなければならない。

A	B
1 臨時に発射	その旨を通知
2 臨時に発射	の停止を解除
3 試験的に発射	その旨を通知
4 試験的に発射	の停止を解除

【 10 】 次に掲げるもののうち、免許人が電波法、放送法若しくはこれらの法律に基づく命令又はこれらに基づく処分に違反したとき、電波法の規定により無線局について受けることがある処分に該当するものを下の番号から選べ。

- 1 3 箇月以内の期間を定めた運用の停止
- 2 6 箇月以内の期間を定めた電波の型式の制限
- 3 3 箇月以内の期間を定めた通信の相手方又は通信事項の制限
- 4 再免許の拒否

【 11 】 次の記述は、無線従事者の免許の取消し等について電波法の規定に沿って述べたものである。□内に入れるべき字句の正しい組合せを下の番号から選べ。

総務大臣は、無線従事者が電波法若しくは電波法に基づく命令又はこれらに基づく処分に違反したときは、その免許を取り消し、又は □ A □ 以内の期間を定めて □ B □ することができる。

A	B
1 3 箇月	その業務に従事することを停止
2 3 箇月	無線設備の操作の範囲を制限
3 6 箇月	その業務に従事することを停止
4 6 箇月	無線設備の操作の範囲を制限

【 12 】 次に掲げるもののうち、無線業務日誌を備え付けなければならない固定局がその無線業務日誌に記載を要しない事項を、電波法施行規則の規定に照らし下の番号から選べ。

- 1 無線従事者（主任無線従事者の監督を受けて無線設備の操作を行う者を含む。）の氏名、資格及び服務方法（変更のあったときに限る。）
- 2 通信の開始及び終了の時刻
- 3 非常の場合の無線通信の実施状況
- 4 空電、混信、受信感度の減退等の通信状態